


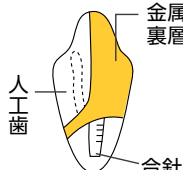






	治療の種類	治療の方法	保険のできる範囲と自費診療
歯冠修復 (むし歯で欠けた部分をつめたり、かぶせたりする)	充填 	むし歯の部分を削り、穴へ材料をつめる。初期のむし歯に行われる。	保険の場合: 燐酸セメント、珪酸セメント、アマルガム、レジン(合成樹脂)。 自費診療: 金箔
	鑄造歯冠修復(インレー) 鑄造冠 	むし歯で欠けた部分が大きくなった場合、型をとり金属で鑄造して元通りにする。	保険の場合: 金銀パラジウム合金、銀合金。 自費診療: 金合金、白金加金。 差額診療: 前歯部に金合金、白金加金を用いた場合。
	金属冠 	むし歯の穴が大きくて、充てんやインレーでは回復できない場合に金属の板を曲げて作る金属冠。	保険の場合: 金銀パラジウム合金、銀合金、ニッケルクロム合金(前歯の智歯を除く臼歯のみに適用される)。 自費診療: 金合金、白金加金。
	継続歯(つぎ歯、さし歯) 	前歯や小臼歯のむし歯が大きくなった歯冠部分を削り取り、人工の歯冠を継ぎたして、元通りにする。	保険の場合: 人工歯にはレジン歯と陶歯を用い、金属で裏うちするときの材料は14K金合金、金銀パラジウム合金、銀合金。 自費診療: 14Kを超える金合金、白金加金。 差額診療: 前歯部に金合金、白金加金を用いた場合
	ジャケット冠 	永久歯の前歯に用いられ、天然の歯に類似した色調をもつ材料で、歯冠部の全表面を覆う。	保険の場合: レジン・硬質レジン。 自費診療: ポーセレン(特別の陶材)、メタルボンド(金属に陶材を焼付けたもの)。
欠損補綴 (なくなった歯を人工歯で補い元通りにする)	ブリッジ(橋義歯) ダミー(人口歯) 	なくなった歯の両隣りの歯を支台として、ポンティック(なくなった歯の代りの歯)と連結して固定する。	保険の場合: 支持歯には鑄造歯冠修復、金属冠、継続歯等が使われ、ダミーの材料は、14K金合金(前歯のみ)、金銀パラジウム合金、銀合金、人工歯はレジン、陶歯が使われる。 自費診療: 14Kを超える金合金、白金加金。
	義歯(いれ歯) ●局部義歯  ●総義歯 	とりはずしのできる歯。歯が全部ない場合の総義歯、部分的にない場合は残った歯に鉤(バネ)をかけて作る局部義歯がある。	保険の場合: 床はレジン、人工歯はレジン歯、陶歯。 バネは2歯欠損まで14K金合金、3歯以上は金銀パラジウム合金、コバルトクロム合金など。 自費診療: 床を金属で作る。バネは14Kを超える金合金または白金加金。 差額診療: 総義歯の床に金属床を使った場合。